

令和元年度第1回 一橋大学政策フォーラム 「新興市場経済を考える」

主催：一橋大学・一橋大学経済研究所

共催：比較経済体制学会

一橋大学経済研究所経済制度研究センター

一橋大学経済研究所ロシア研究センター

日時：令和元年6月22日(土) 10:00~16:30 (9:30開場・受付開始)

会場：一橋大学一橋講堂 2階 中会議場

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩4分

東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩4分

参加費：無料

ブラジル、ロシア、インド、中国の4大地域大国は、21世紀を迎えて、目覚ましい経済発展を遂げました。BRICsと称されるこれらの国々は、「世界経済の牽引役」として、国際社会から大きな注目を集めています。我が国を含む先進諸国から、大規模な資本投下や技術移転を引き受けると共に、有力多国籍企業がこぞって進出した事実も、これらの国々の有望振りを如実に表しています。しかし、近年は、様々な理由から、これら4カ国の経済活動が変調を来しているのもまた事実です。ダイナミックな経済発展は、新興市場経済の強みですが、激しい景気変動という弱みも同時に抱えています。今回の政策フォーラム「新興市場を考える」では、この問題を、比較経済システム論的な観点から、深く、しかし分かりやすく掘り下げていきます。

【プログラム】

09:30	開場・受付開始
10:00-10:10	開会の辞：渡部 敏明（一橋大学経済研究所所長） 上垣 彰（比較経済体制学会代表幹事・西南学院大学経済学部教授）
10:15-11:15	基調講演：ジョセフ C. ブラダ（アリゾナ州立大学名誉教授、新興市場学会会長） 題目：「BRICs 経済の過去と現在」（英語講演・通訳なし）
11:15-12:00	基調講演へのコメント・討論 司会：岩崎 一郎（一橋大学経済研究所教授） 討論：上垣 彰（比較経済体制学会代表幹事・西南学院大学経済学部教授） 溝端 佐登史（京都大学経済研究所所長）
12:00-13:30	休憩
13:30-16:30	パネル討論会「新興市場経済システムの光と影」 司会：雲 和広（一橋大学経済研究所教授） 報告：濱口 伸明（神戸大学経済経営研究所教授）「ブラジル」 田畑 伸一郎（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）「ロシア」 黒崎 卓（一橋大学経済研究所教授）「インド」 丸川 知雄（東京大学社会科学研究所教授）「中国」
16:30	閉会

お申込み先 以下のURLからお申込みください。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
<https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/v33/entries/add/218> (5月8日受付開始)

お問合せ先 一橋大学経済研究所 経済制度研究センター内事務局
E-mail: forum190622@ier.hit-u.ac.jp